

令和5年度 学校教育自己診断 分析（■はコメントです）

I 保護者からの回答に関して（R1→R2→R3→R4→R5）

(1) 回答数: ほぼ昨年同様 (697→671→651→602→555) 学級数 25→24→23→23→23)
回答率 63.0% (昨年 67.4%)

(2) 学校生活全般に関する設問について、「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

1, 子どもは学校行くのを楽しみにしている (80.5%→79.2%→79.9%→79.8%→82.7)

3, 生活指導の方針に共感 (65.3%→64.8%→67.7%→62.8%→66.7)

4, 将来の進路や職業について適切な指導 (68.4%→67.5%→69.6%→67.3%→68.6)

5, 子どもの心身の健康について気軽に先生に相談できる (61.1%→61.3%→61.8%→58.7%→57.9)

13, 学校はいじめについて子どもが困っていれば真剣に対応 (37.7%→33.7%→25.3%→24.6%→27.4)

- 「生活指導方針に共感」については、やや上昇した。
- 「将来の進路や職業について適切な指導」は、やや上昇した。
- 「子どもの心身の健康について気軽に相談できる」は、やや下降した。
- 「学校はいじめについて…真剣に対応」について肯定的な回答が昨年度と比べやや増加。今年度も、同じ問いで「判断できない」との回答は 67.6% (昨年 69.2%) と多かった。いじめ状況そのものが少ないので、「わからない」との回答が多いと考えられる。
- 毎年3回、全生徒へのいじめ等（安心安全生活）アンケートなどを引き続きおこない、いじめを見逃さない取り組みを続けたい。

(3) 学校行事（特別活動）に関する設問について「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

6, 学校行事は子どもにとり有意義 (90.7%→84.9%→91.4%→94.6%→95.1)

7, 人権尊重の意識や社会ルールを育成 (68.6%→71.5%→71.6%→69.4%→69.8)

- 学校行事に関しては、本年度は高い水準を維持している。感染防止対策をとりつつ、体育祭・文化祭を実施した。今年度も修学旅行の行先を国内（北海道）に変更して実施した。

(4) 学習活動および学習環境についての「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

2. 子どもは授業がわかりやすく興味深いと言っている (40.2%→41.3%→49.3%→47.7%→50.0)

(生徒の「4 授業はわかりやすい」の回答との比較 59.0%→66.6%→61.1%→59.3%→69.8)

9. 学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる (40.9%→45.5%→45.3%→46.1%→45.2)

- 「授業がわかりやすく興味深い」と家庭で話している生徒は、毎年少しずつ増え 50%になっている。しかし同じ質問の生徒回答では 69.8%であり、約 20%多くなっており、差が見られる。
- 同じ質問で保護者の 21.0% (昨年 38%)、生徒の 30.0% (昨年 35%) が「あまりあてはまらない」、または「まったくあてはまらない」と回答している。保護者、生徒とも減少したが、一定数の保護者が、生徒が授業を理解できているか心配している様子が見える。
- 一方、教科別に全員回答する授業アンケートの評価は高い。

【参考】全科目対象全生徒による授業評価アンケートより（肯定的回答の%）

	R1	→	R2	→	R3	→	R4	→	R5
授業の進度や難易度は自分にとって適切である	86%	→	88%	→	88%	→	89.3%	→	89.7
毎時間授業の目標や大切なポイントを説明してくれる	89%	→	91%	→	91%	→	91.6%	→	91.8
先生はプリント等の教材や ICT 機器を効率的に活用している	86%	→	88%	→	89%	→	90.1%	→	90.1
生徒が考える時間や発表する活動を多く取り入れている	(		)				89.4%	→	89.1
生徒の意見や要望を取り入れ授業改善に生かしている	80%	→	81%	→	82%	→	85.4%	→	84.7

- 施設面では、トイレの改修等の要望が多い。一部改修済み。
- 本年度は電子機能付きプロジェクター対応黒板の導入を行った。

Ⅱ 生徒からの回答に関して（R1→R2→R3→R4→R5）

（1）学校生活全般に関する設問について「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

1. 学校へ行くのが楽しい（77.9%→80.7%→77.8%→76.0%→**85.1**）
20. 学校生活の満足度（80.2%→80.3%→78.3%→80.2%→**81.8**） 1年 71.3%→75.0%→78.8%→81.2%→**79.3**
2年 83.8%→80.1%→72.2%→78.4%→**81.0** 3年 84.2%→85.8%→84.2%→79.5%→**85.3**
21. 後輩に旭高校を勧めるか（68.5%→74.4%→73.2%→74.9%→**68.7**）
1年 75.9%→70.3%→76.7%→79.5%→**72.5** 2年 70.6%→77.9%→64.2%→73.3%→**63.5**
3年 60.4%→75.0%→79.2%→70.0%→**70.9**

- 本校での高校生活を楽しいと感じている生徒が増加している。
- 「旭高を後輩に勧めるか」との設問では、3年生では微増したものの、1年生、2年生では減少している。特に昨年度の1年生と今年度2年生を比べると減少している。

（2）学習について、「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

2. 先生は生徒の意見を聞いてくれる（62.5%→71.4%→79.2%→78.8%→**81.0**）
3. 授業はわかりやすい（59.0%→66.6%→61.1%→59.8%→**69.8**）
4. 授業で分からないところについて先生に質問しやすい（64.8%→68.0%→69.2%→72.9%→**76.2**）

- 「先生は生徒の意見を聞いてくれる」の肯定的回答は約81%となった。
- 「授業で分からないところ…質問しやすい」の肯定的回答も上昇傾向である。100%をめざしたい。
- 「授業はわかりやすい」の肯定的回答が増加している。今後も増加させたい。

（3）キャリア教育・人権教育について、「よくあてはまる」または「ややあてはまる」の割合

10. 将来の進路や生き方について考える機会がある（84.5%→88.5%→91.1%→90.3%→**90.4**）
14. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある（69.7%→79.5%→82.5%→85.0%→**88.4**）

- 進路について考える機会について、年々肯定的回答が増加している。進路行事を多彩に企画し、進路を考える生徒のよいきっかけにできているといえる。
- また、命の大切さ、個人の違いを理解し尊重すること、よき関係を保つために社会のルールについて学ぶことなど、教育活動全全般を通じて取り組んでいる。

（4）家庭学習時間について

22. 平日の勉強時間 0～30分 49.3%→42.8%→53.9%→47.4%→**53.9**
1時間 26.3%→31.4%→24.5%→25.1%→**23.9** 2時間以上 24.8%→25.8%→21.5%→27.6%→**22.2**
23. 休日の勉強時間 0～30分 44.0%→35.7%→45.6%→41.2%→**50.8**
1時間 23.1%→26.0%→22.2%→19.1%→**19.6** 2時間以上 33.3%→38.3%→32.1%→39.6%→**27.5**

- 平日休日とも勉強時間が30分以下の生徒が昨年より増加した。それとともに、2時間以上学習する生徒の割合が減少した。
- 昨年11月現在の通塾率は24%（1年22% 2年25.8% 3年44.5%、一昨年は41.5%）であった。

Ⅲ その他全般に関して

11. 学校からの連絡を子どもがもらさず伝えている 保護者 58.0%→66.6%→59.9%→61.3%→**61.4**
生徒 66.8%→73.9%→75.1%→77.3%→**78.1**
10. 学校が家庭連絡を積極的に行っている 保護者 66.3%→76.3%→73.6%→66.6%→**68.2**
16. 保護者が旭高校のどこに最も注目しているか（いずれか1つ）
教育方針 17.9%→19.4%→16.0%→12.7%→**14.9** 生徒会活動や行事 23.5%→24.9%→18.3%→21.9%
進路実現 25.4%→26.8%→38.4%→40.3%→**45.0** →**18.8**
国際交流 24.1%→21.3%→19.2%→18.6%→**16.4** 部活動 5.6%→5.8%→5.7%→6.5%→**4.9**

- 学校からの家庭連絡については、今後ともライデンメールでの緊急時の対応やHPの充実など、情報発信に努めていきたい。
- 本年度も、進路実現の注目度が高まっている。